

主催： 公益社団法人応用物理学会 微小光学研究会
協賛： オプトロニクス社, 日本光学会(予定)



第 160 回微小光学研究会 「CO₂削減と光」

パリ協定における日本国の「2050 年までにゼロエミッション(温暖化ガス排出量を実質ゼロ化)を実現する」の公約実現に向けて様々な技術開発が進んでいる。ゼロエミッションを実現するには、二酸化炭素を発生しないエネルギー技術, さらに二酸化炭素の資源化技術が必要である。これらの技術開発に光はどう関与できるのだろうか。本研究会では、二酸化炭素を発生しないエネルギー(電力)源, 二酸化炭素の資源化を目指す人工光合成, 植物由来材料に関わる基礎研究・基盤技術について紹介していただき, 光で貢献できるゼロエミッション社会への展望を議論する。

日時： 2021 年 10 月 29 日(金) 13:00-17:00

会場： Zoom を用いた仮想会議場(接続方法はお申込み後個別に連絡)

プログラム

- | | | |
|-------------|--------------------------------------|-----------------|
| 13:00-13:05 | 開会の挨拶 | |
| 13:05-13:20 | イントロダクトリー | 横森 清(微小光学研究会) |
| 13:20-14:00 | 【基調講演】ゼロエミッション社会を実現する革新的イノベーションの創出 | 近松真之(産総研) |
| 14:00-14:30 | 人工光合成技術を活用した CO ₂ 電解技術の開発 | 北川良太(東芝) |
| 14:30-15:00 | 酸化物ナノシートと色素分子の融合による可視光水分解水素製造(仮題) | 前田和彦(東工大) |
| 15:00-15:20 | 休憩(20 分) | |
| 15:20-15:50 | 両極に遷移金属酸化物ベースの光触媒を用いた高電圧太陽電池 | 泉康雄(千葉大) |
| 15:50-16:20 | 自動ガス漏れイメージング・検出・および定量化 | ヘーガン ネイザン(宇都宮大) |
| 16:20-16:50 | 透明セルロースナノペーパーの光学特性 | 谷尾宣久(千歳科技大) |
| 16:50-17:00 | 閉会の挨拶 | |

参加費(消費税込, 予稿集代を含む.): 一般 5,000 円, 応用物理学会員 4,000 円

学生・シニア 2,000 円, 学生・シニア 応用物理学会員 1,000 円

参加申込: 事前申込必要. 微小光学研究会ウェブサイト(<http://www.comemoc.com/>)よりお申込み下さい.

※開催数日前に Zoom 接続情報, 予稿集と請求書を発送致しますので, 参加費(予稿集代含む)をお支払いください.

担当委員: 杉原興浩(宇都宮大)、高磊(産総研)、石井啓之(古河電工)、井上大輔(住友電工)、横森
問合せ先: 横森 清(yokomori-k@ieee.org)(■を@に変えてください.)

微小光学研究会 代表: 伊賀 健一

運営委員長: 中島 啓幾

実行委員長: 横森 清

運営副委員長: 波多腰 玄一

実行副委員長: 宮本 智之

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <http://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます.